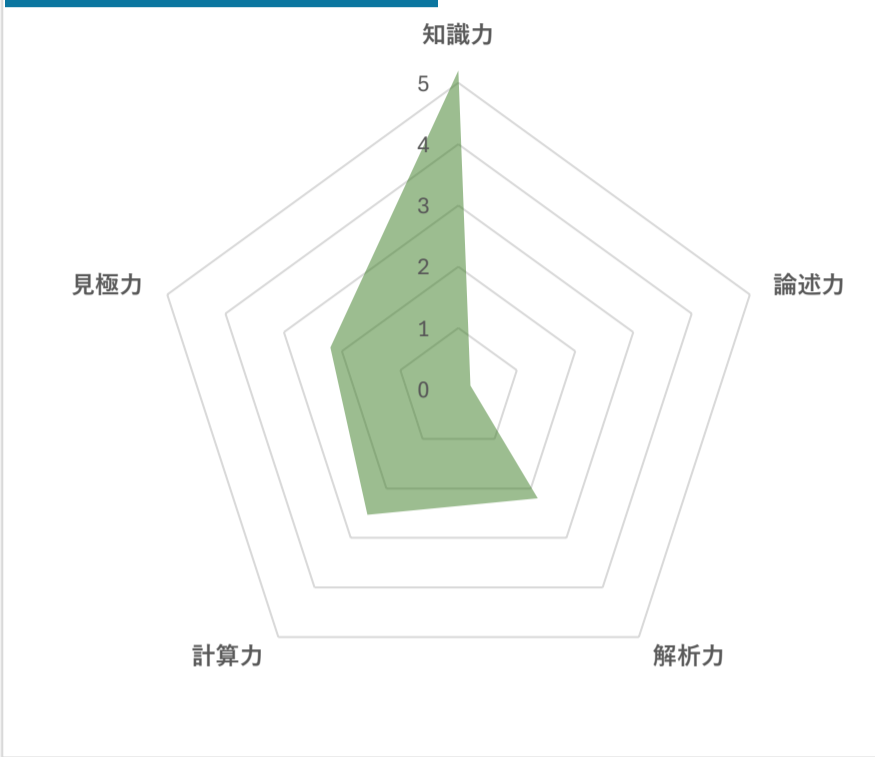


総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	60分 (理科 2科120分)	大問数	全 3 問
------	-----------------	-----	-------

合格に要する能力 (5段階)

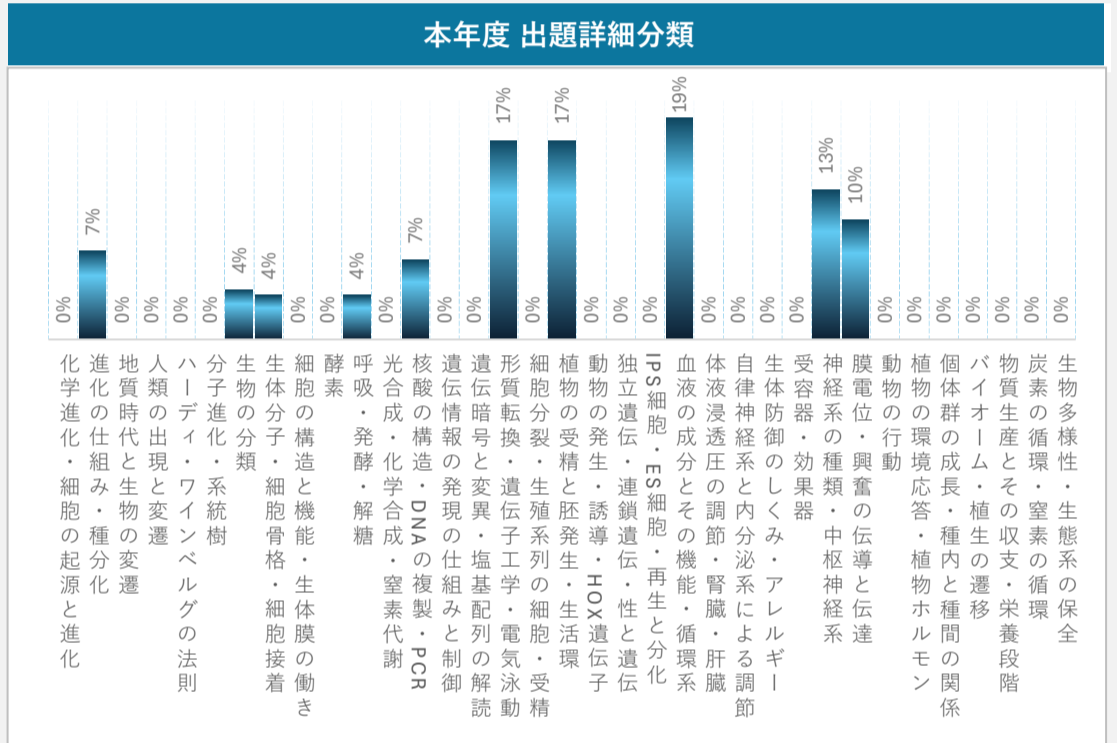


合格に要する能力 (5段階)		
知識力	5.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	2.0	図表データなどから分析・解析する力
計算力	2.3	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

出題分野	
系統と進化	12%
生命現象と物質	7%
遺伝子	23%
生殖と発生	17%
生物の環境応答	41%
生態	0%

本年度 解答形式	
選択肢	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	膜電位と伝達・ゲノム・DNAマイクロアレイ解析
第 2 問	被子植物の生活環・脳の機能局在
第 3 問	血液の成分・必須アミノ酸・呼吸商・自然選択



特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価			
難度	1.8	最難を 5 とする問題自体の難度	やや易しい
分量	51分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや少ない
一次合格に必要な正答率 (予想)			82%
極めて高い正答率を要する			

**入試の特徴と対策**

▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。

**入試から見る 大学が求める学生像**

基礎力のしっかりとした学生を求めている。植物を題材とする問題も出題して、満遍なく学習する姿勢を大切にしている。標準的な計算力や図表解析力も求めている。2025年 大問 3 II 「フィンチの進化」のように、教科書に掲載されている説明や図表を題材として、解析問題を作成することがある。教科書に精通する必要がある。